モノづくりの道へ、未来の匠は、君だ！

ものづくり・匠の技の祭典2026

Monozukuri-A Celebration of Japanese Artisanal Techniques.

2026・7・31（金）～8．2（日）　東京国際フォーラムで開催

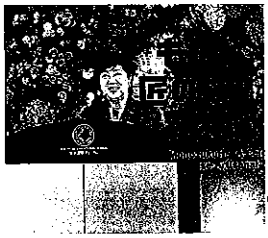
全表連

全国表具経師内装組合連合会

〔禁　転　載〕

事務局
東京都新宿区市ヶ谷八幡町13番地
東京洋服会館6階全技連マイスター会内
電話03-6265-3680・FAX03-3685

祭典サポーターを務める本田望結さんが挨拶をする



開会の挨拶をする主催者東京都知事小池百合子氏

一般社団法人東京表具経師内装文化協会

東京都主催による『ものづくり・匠の技の祭典2026』が東京東京国際フォーラムE・ロビーギャラリーで7月31日（金）～8月2日（日）開催された。毎回大勢の来場者が押寄せる人気のイベント。今回の祭典サポーターは本田望結さんと本田沙来さん姉妹。（一社）東京表具経師内装文化協会は、「匠」のステージで、屏風制作の工程から観る伝統の「羽根つけ」を実演披露した。また、ブース内では「からくり屏風」の制作実演を来場者に体験する企画には、夏休みの親子連れで賑わい盛況だった。

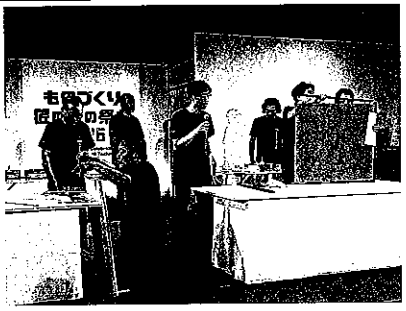
昨年開催された会場から、従来の有楽町国際フォーラムで開催された。今回は11回目となり立地条件の整った会場に連日大勢の来場者が詰めかけた。初日のオープニングセレモニーで東京都知事小池百合子氏は挨拶で、「日本各地から各種の匠の技の技能者が集結し、「衣」「食」「住」「工」の各分野から秀でた職人技を、ご自分の目で確かめ、100種類以上の体験プログラムがあるので存分に楽しんで欲しいものです。（以下割愛）」

引き続き、来賓紹介が行われた。（敬称略）

・東京都中小企業団体中央会・職業能力開発協会会長會津　健氏・一般社団法人東京都技能士会連合会会長大関東志夫氏

・東京都伝統工芸品産業団体連絡協議会会長澤井伸氏・東京都議会議長増子博樹氏他に、モノづくり職人8名、未来のものづくりを支える学生5名。最後に、祭典サポーター本田望結氏。

ステージ中央にはフラワー装飾の第一人者で活躍する匠たちが制作した見事な花の装飾アーチが披露され、それぞれがアーチをくぐりながらの登場演出に会場からも拍手が湧く。



ステージで実演する職人と解説する高橋氏

限られた時間内で難しい作業工程を手際よく見せる匠の技に、思わず溜息が漏れる。予め想定した作業の仕上がり具合を丁寧に説明する高橋会長の話に引き込まれる。

屏風の「羽根つけ」とは、屏風を両方向へ滑らかに折りたためるようにする紙の蝶番（ちょうつがい）を作る重要な伝統技法です。強靭な和紙（楮紙など）で細長く切った木枠（下地）の一定位置に糊で貼り合差（あいさ）とよばれる隙間を持たせ両側の面を繋ぎ合わせることで隙間なく自由に曲げられる構造をうみだしています。

からくり屏風を制作する子供達（右）
襖お制作実演をする内田氏（左）

屏風制作でも最も重要な制作ポイントを、高橋晃一会長が解説をしながら、職人鈴木雅彦副会長石塚利郎常務理事、平井敏氏、小鍋正信氏、小宮山理事が実演をした。

初日のステージでは、東京表具経師内装文化協会会員による、屏風制作の工程からみる伝統の「羽根つけ」実演が行われた。

その体験を、文化協会のブース内で、「からくり屏風」の制作体験ができるように準備したこともタイムリーである。

親子連れの人達がテーブルを挟んで糊と刷毛を使い、職人から直接の指導と助言をもらって見事に完成させ大喜びの光景が印象的。

「どうして？」

「どうしてって？なんで？」

そうですよね。その不思議さが「からくり」なんですね。屏風の「羽根つけ」はその原理に似ていますねと納得する。

ブース内では、「襖制作実演」が実施され、内田幸夫氏、阿部　崇氏、吉澤幸喜氏が実演を行い稲崎昌仁氏が解説を行っている。昨今の住宅建築事情もある中で、伝統的な「襖」の存在も新たな脚光を浴びつつある点にも注目したい。

若者による実演ステージ」では、工科高校生や専門学校生がステージに登場。「匠」の指導のもと、ものづくりの仕事の魅力や将来の可能性を発信していた。

祭典サポーターの本田望結さんと本田沙来さんも日替わりでステージに登場し実演体験を披露。

伝統建築の枠を集めた茶室と伝統技能の作品展示を加え、AIと匠の技の融合やロボット搭乗体験は、貴重な体験と未来に繋がる展示が、各業種のブース内でも展開されていた。

連日の猛暑を吹き飛ばすエネルギーがあった。

ロビーギャラリーで「ロボット搭乗体験」を楽しむ親子

風のたより

サッカーや大相撲の話題を原稿のテーマにしていた矢先、熊本地震発生のニュースが飛び込み前の二つのことが頭から消えた◆国内外206店舗（日本163）を誇るイオンモール熊本で地震後爆発が起こり、夕方と夏休みで大勢の客が直前に避難したが、巻き込まれた人もいる◆全国津々浦々に展開されているショッピングモールはかつて「現代のパンテオン」と称され、ローマ帝国の神殿を現代風にアレンジされた建物は、地域の人々の消費生活の拠点であり街の形態になっている◆10年前に発生した熊本地震の悪夢がしたようで震撼させられる。昨年全表連全国熊本大会で開催された折、復旧された熊本城の天守閣を見学し、敷地内には修復作業中の場所もあり、当時のダメージの大きさを感じ心痛めた◆「砲弾が命中したような破裂音がした」と、現場にいた人の声が報じられ、破壊されたモールの内部が映し出される。飛び散った壁や器具が粉じんで真っ白になり、道路沿いのトラックが破壊される凄い威力に驚く◆もし、その場に自分がいたら、家族がいたら？：人の命の尊さをおもいつつ、必死に救出作業を続けている人に心打たれる◆誰よりでも積極的に全表連の活動に参加し、いつも会員の士気を高める役割を果たしてくれている熊本県連会長矢野氏をはじめ会員の皆様には激励の言葉がかけられないが、全国の会員を含め多くの人達が「力になりたい」と願う。いまこのときも、熊本を思う心は一つです。

8月号記事内容

・「ものづり・匠の技の祭典2026」東京国際フォーラム　・・・・・1面
・大英博物館日本美術コレクション百花繚乱　海を越えた江戸絵画
・ヤヨイ化学ホールディング体制へ移行　・・・・・2面
・壁紙探訪　110回　網村　眞弓氏
・砂子師所遊楽　7回　山本　和久氏
・開催予告ギフト・ショー2026秋　・・・・・3面
・デジタルプリントによるインテリアの現状と今後　61回　小島　一仁氏
・不器用な職人の生き方　81回　神南元義氏　・・・・・4面

YAYOI

ヤヨイ化学「テレビCM」絶賛放送中!!

TBSテレビ系列 全国28局ネット「ラヴィット！」毎週金曜日枠にて

ヤヨイ化学では、
壁紙の魅力を広く伝えることを目的に
「壁紙がもたらす豊な暮らし」を
モチーフにしたアニメーションCMを
オンエアーしています。

●弊社HPまたはYouTubeチャンネルでもご覧いただけます。

「心ときめく、きっかけを。」篇

「ヤヨイ化学にできること。」篇

ヤヨイ化学販売株式会社
お問い合わせは　0120-303-841
●詳しくはHPをご覧ください。
www.yayoikagaku.co.jp
ヤヨイ化学公式 YouTube チャンネル ▶
ヤヨイ化学公式 Instagram ▶

ヤヨイ化学販売株式会社

ヤヨイ化学 ホールディング体制へ移行

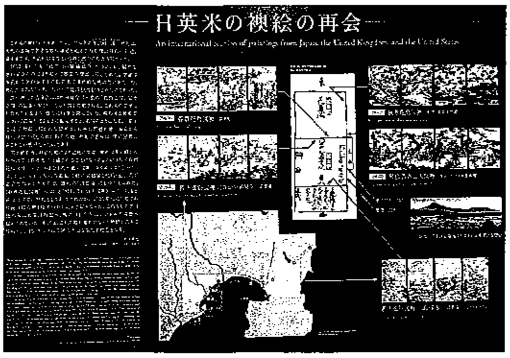
ヤヨイHD

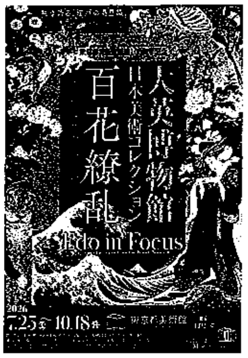
ヤヨイ化学工業(株)は、本年7月1日よりホールディングス体制に移行、これまでの社名「ヤヨイ化学工業株式会社」を「ヤヨイホールディングス株式会社」に変更しグループ全体の経営管理を担う持株会社となった。

これまで「ヤヨイ化学工業株式会社」で行ってきた製造・開発事業については、新たに設立する「ヤヨイ化学工業株式会社」（同名）が承継し、引き続き製造・開発事業を行う。 また「ヤヨイ化学販売株式会社」は、従来通りグループの販売部門として継続する。
なお新体制移行にともなう業務体制の変更はなく、営業担当者はじめ窓口の変更はない。

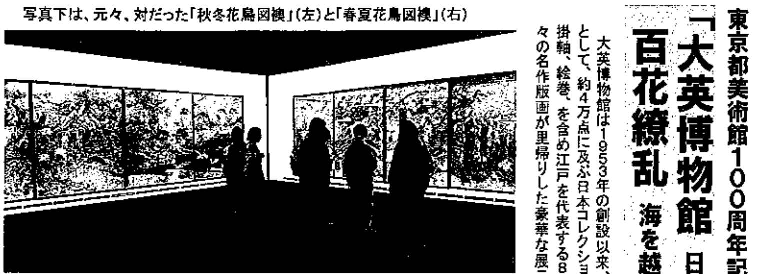
■グループ会社概要
・会社名：ヤヨイホールディングス株式会社
（社名変更／旧社名 ヤヨイ化学工業株式会社）代表者：代表取締役社長 二口真
本社：富山県高岡市下麻生4649番地
事業内容：グループ経営管理および物流管理
・会社名：ヤヨイ化学工業株式会社（新設100%子会社）
代表者：代表取締役会長 二口真（新任）／代表取締役社長 清水章（新任）
本社：富山県高岡市下麻生4649番地
事業内容：接着剤・下地調整剤等の開発および製造、工具等の開発・仕入
・会社名：ヤヨイ化学販売株式会社（100%子会社）
代表者：代表取締役社長 二口真
本社：東京都板橋区東坂下1丁目10番7号
事業内容：上記製品の販売

ヤヨイ化学のホームページ
https://www.yayoikagaku.co.jp





写真下は、元々、対だった「秋冬花鳥図襖」（左）と「春夏花鳥図襖」（右）



東京都美術館100周年記念

「大英博物館 日本美術コレクション 百花繚乱 海を越えた江戸絵画」

大英博物館は1953年の創設以来、世界を代表するミュージアムとして、約4万点に及ぶ日本コレクションより江戸時代を彩った屏風、掛軸、絵巻、を含め江戸を代表する8人の浮世絵師による優れた数々の名作版画が里帰りした豪華な展示が実現した。

・主催：東京都美術館（公益財団法人東京都歴史文化財団）、大英博物館、朝日新聞社、NHK、NHKプロモーション
・会場：東京都上野公園 東京都美術館
・会期：2026年7月25日（土）～10月18日（日）
＊休室日：月曜日、10/13 但し、8/10、9/21 10/12（月・祝）開室

大英博物館の日本美術コレクションは、海外では最も包括的なものの一つとして評価されるほど量・質ともに充実しており、その形式を支えたのは、ジャポニズムが流行した19世紀後半以来、海を隔てた異国の地・日本文化に魅了された人々でした。

今回、江戸時代の絵画を中心に、優れた作品が厳選され展示された。

江戸時代を代表する八大浮世絵師（葛飾北斎・鈴木春信・歌川国芳・歌川豊国・歌川広重・東洲斎写楽・喜多川歌麿・鳥居清長らの貴重な肉筆画が一堂に展示される。

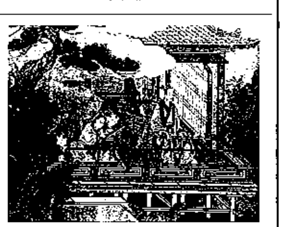
表具、経師に携わる人にとって必見の価値がある貴重な襖絵ではないでしょうか。

「海を越えて150年ぶりに奇跡の再会！」のコピーが表現される通り、大英博物館と青森県中泊町の旧家・宮腰家に分蔵されていた花鳥図は、近年の調査で、狩野派の一連の作品であることが判明。本展では、青森の襖絵に加えて、かつて大英博物館所蔵の襖絵と一組であったアメリカのシアトル美術館所蔵の襖絵が特別出品となり、青森・ロンドン・シアトルに分かれていた襖絵を一堂に鑑賞できることが実現した。（写真右上欄参照）

修復家の眼で読み解く150年の流転の「モノ」の記憶として、杉山恵助氏（コンサバター・表具師・東北芸術工科大学教授）は次のように記述、

かつて奈良・談山神社の学頭竹林坊の大広間を彩っていた一連の金碧障壁画群。明治初期の混乱の中で寺院を離れてから約150年の時を経て、大英博物館、シアトル美術館、そして青森県中泊町の宮越家に分蔵されていた襖絵が再会。各国の保存修復家がそれぞれの作品の構造と修理歴について共同調査を行い文化財保存修復学という「モノ」の構造や材質からこれらの作品＝襖絵の来歴の解明を試みてきた。

KLASSとして初の
業務用総合カタログ
#17
絶賛配布中!!
KLASS株式会社
https://www.klass-corp.co.jp/



狩野宗眼重信《琴棋書画仙人図襖》（写真右）と鑑賞者（左）

今回の調査では、3ヶ国に分蔵された襖絵の構造について詳細な比較を行った。襖絵はいずれも10枚の紙が継がれて校正されており、用いられている紙の寸法や継ぎ位置がきわめて均質であることが確認された。（以下詳細は割愛しますが、職人さんには興味深く鑑賞するポイントになるのではないか）。同時に、保存修復家＝コンサバターの日・英・米国の専門家による貴重な修復共同調査によって、数奇な経緯を辿った襖絵の美しさと

掛軸にも多数の作品が展示され、特に注目したのは「柴田是真」《鍾馗に鬼図》（描表装）は、鬼退治の鍾馗が目を大きく見開いて睨みをきかせ鬼が金粉の雲をまき散らしながら画面の外へ転がり落ちていくように視覚的な効果を生み出している。鬼のはみ出しは、掛軸の観念を超えた遊び心と大胆さが面白い。

更に、掛軸や屏風に使用されている裂地（金襴・緞子・錦や間道の組合わせ）が作品をより一層引き立てているのが素人目にもわかる気がする。ともに、その背後にひそやかに作品を守り、後世に伝えてきた職人たちの仕事にも思いを馳せながら鑑賞するのも楽しみ。

掛軸、屏風、絵巻物などの作品群では、初めて見る本物の絵に驚きつつその技法や表現力の新鮮さに感嘆する。「野兎図屏風」《六曲一隻》、円山応挙「虎の子渡し図屏風」《六曲一隻》は、画面全体に金地が施されていることから依頼者の裕福と権力強さがうかがえる初の里帰り作品。

「浮世絵」の人気を盛り上げたNHKの大河ドラマ「蔦屋重三郎」の存在の大きさを再認識。

喜多川歌麿、東洲斎写楽、山東京伝、曲亭馬琴等の浮世絵師を育て、江戸時代の庶民の娯楽を謳歌した功績が甦る。

加えて、大英博物館に貯蔵されている有名版画の数々に驚きながら本物を鑑賞できるコスパとタイパ＝費用と時間を懸けた満足感がある。

葛飾北斎：冨嶽三十六景　神奈川沖浪裏

歌川広重《東海道五十三次之図》二種の日本橋図で、有名な「日本橋朝の景」に加え、同じ構図で「行列振出」があり、さまざまな商売に従事する人々を大勢描いてあり東海道の出発点である日本橋らしく、旅の予感を感じさせる作品。

・・・・・・

＊会場内では音声ガイドのレンタル（700円/台）歌舞伎界の若きプリンス市川染五郎さんと声優・種崎敦美さんがナビゲーションを務めている。

＊観覧料（税込）
一般　2,300円
大学・専門学校生　1,300円
65歳以上　1,600円
（18歳以下、高校生以下無料）

＊閲覧会公式X
@daiei-ten2026

アトピーや健康、環境から内装を考える
総合室内装飾
株式会社 鈴直
SUZUNAO Japanese traditional since 1925
〒239-0807 横須賀市根岸町5－21－40
TEL.046－852－3355(代) FAX.853－1100
Re壁

ふすま・障子・アミ戸張替・掛軸・額・建具
ガラスフイルム施工・カーテン・ブラインド
県営・市営住宅対応店
サワダ表具店 TEL(0852)26-3000 FAX(0852)26-3001
◆本店：松江市雑賀町288 ◆支店：松江市上乃木8丁目1－7茶山ビル
一枚からでも専門店でお気軽にご相談ください

紙壁紙のイメージを越えた施工性の良さが魅力
SILKROAD
KIKUCHI
株式会社 菊池襖紙工場
〒340-0031 埼玉県草加市新里町1355番地
TEL：048-925-1245・FAX：048-925-8822

紙や糸が持つ自然の風合いを大切に、一枚一枚丁寧に仕上げる。
明るく上質な高級感・・・豊かなくつろぎをお届けします。
国際産業の襖紙見本帳
日新　第12集
吉兆　第15集
ながしま　第20集
国際産業株式会社
〒544-0004 大阪府大阪市生野区巽北2-7-9
TEL06-6752-1526 FAX06-6752-7388

ふすま・掛軸・額・屏風・家紋入り盆燈籠
神南表具店
御許町50 ☎ 22-1266 FAX 22-2275

日本の伝統技術⑦

砂子師所遊楽

株式会社 菊池襖紙工場
伝統工芸室
砂子師　山本　和久氏

さて、メキシコで得たインスピレーションに「勘違い」が無かったか。ブレずにやっていけるのか？『確認』の意味でメキシコから戻って、日を置かずに栃木県立美術館に足を運びました。美術館自慢の大壁面の前に佇み、スーパーリアリズムの旗手、上田薫氏の泡の絵、フランスのシュポール／シュルファス運動のクロード・ヴィアラの作品、元永定正さんのホワンと力の抜けた緩やかで優しい抽象画などの多種多様な巨大作品群に感動して、改めて美術で生きていく決意を固くしました。後にこの体験は、仕事や制作に行き詰まった時にしばしば訪れて勇気づけられることになります。ちょうど近所に服飾学校を中退した友人がいて都内の美術学校に行く予定だという事で、新宿の東洋美術学校を見学に行きました。

絵画科、グラフィックデザイン、プロダクトデザイン科などの専門の科に分かれて2～4年間のカリキュラムで一通りのノウハウやテクニックを学びます。同じ時期に高校の同級生で先に関西の芸大に行ってた友人に「芸大系も受けるだけ受けたら？」との事で、関西の大学を一校受けてはみましたが、いわゆる美大受験対策（デッサンの完成度や合格基準の作品づくりを全くやってこなかったのであえなく不合格でした。

四月、新宿曙橋にある東洋美術学校に入学します。絵画科。二年間のカリキュラムで石膏デッサン、油彩、水彩、アクリル画、銅版画、彫刻等、一通りの美術の技法を学びます。

絵画科は2クラス。北は北海道から南は沖縄までと、立場も現役の方をはじめ、主婦、建築事務所勤務、東京藝大八浪中のベテランの方などなど多種多彩な同級生が1クラス40名集いました。

住まいは、学校まで徒歩30分の新宿区、早稲田鶴巻町。当時は早稲田実業が目の前にあって、その家の一階に大家さんが住んでいて、外付けの階段で二階に上がった三畳一間の部屋が数室あります。そのうちの2間を借りるという、いささか変わったところにご厄介になる事になりました。

おそらく【早稲田大学の学生さんが一部屋づつ借りて下宿生活を送ってた】その名残のようなところです。朝は早稲田実業の野球部や陸上部の掛け声で飛び起き、学校に行き、夜になると、どこからともなく歌われる「ワセダーワセダ～ワセダ♪♪」の歌が子守歌という、なかなか学生街特有の刺激のあるような日常が始まりました。

一学期、学校でデッサンの授業をしているうちに一学年上の先輩たちと仲良くなり、美大受験のノウハウや（こちらはそもそも美大受験をしようと思ってないのですが）、バンドを組んで音楽活動をしている人たち、本気で画家になろうとしてる人など、当時、美術を学びに来ていながらも、様々な未来に飛び出ようとする空気にあふれていたと思います。

【写真は東洋美術学校の時、生徒仲間と撮影・前列右側が山本氏】

＊東洋美術学校は1946年創立、80年を迎える美術教育の専門学校で、時代に合わせたカリキュラムを更新し、デザイン・イラスト・漫画・3DCG、保存修復まで幅広い美術教育に貢献している。

壁紙探訪 新連載 110

Color Design Firm 代表
網村眞弓
日本色彩学正会員
インテリアデザイナー
カラーコンサルタント

■ジャングリア沖縄を支える「特殊ペイント」の力

2025年7月25日にオープンしたジャングリア沖縄を訪れた。豊かな自然を生かし、〝ジャングルと冒険〟をテーマにした話題のテーマパークである。

園内では、非日常のスリルを演出するため、細部にまで工夫が施されている。今回は、普段あまり注目されることのないインテリアやエクステリアを支える特殊ペイント技法に焦点を当てよう。

以前、色彩学会・環境色彩研究会の視察で、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンなどの塗装も手掛けるペイントフィニッシュの第一人者と現地を巡り、技法や考え方を学ぶ機会があった。その知見や事例を交えながらご紹介する。

◆一目では気づかない「特殊ペイント」の技術

テーマパークでは、映画のセットさながらの空間がつくられ来園者を瞬時に物語の世界へと引き込む。その舞台裏では、「ペイントフィニッシュ」と呼ばれる高度な塗装技法が活躍している。

木や石、金属などの質感を再現する「フォーフィニッシュ（擬似塗装）や、経年変化を表現する「エイジングペイント」をはじめ、空間に物語を与える「キャラクターペイント」など、多彩な技法が世界観を支えている。

電柱のボックス内に巧みに隠された音響設備

◆景観に溶け込む演出・音響設備のカモフラージュ

スピーカーなどの音響設備は、電柱のボックス内など巧みに隠され、景観を損なわないよう仕上げられている。

・石の質感を生み出す「スパッタリング」

刷毛で塗料を細かく飛ばし、何色も重ね合わせる「スパッタリング」により、コンクリートであ

「スパッタリング」による仕上げ

りながら天然石のような質感を再現している。

・時の流れを描くエイジング

苔や金属の腐食などを塗装で表現し、長い年月を経たような風合いを演出する。

USJでのエイジング人気アトラクション「ダイナソーサファリ」でも、こうしたエイジング加工が見られた。

テーマパークでは、世界観を守るために必要な設備にも、このような高度な演出技術が施されている。見た目は木や石であっても、実際にはFRPやアルミニウムなど異なる素材が使われていることも少なくない。

アトラクションのスリルだけでなく、こうした空間づくりの技術に目を向けると、テーマパークの楽しみ方はさらに深まる。

【筆者プロフィール】
日本色彩学会正会員
国際インテリアデザイナー協会ボードメンバー
日本インテリアコーディネーター協会会員
インテリアデザイナー／カラーコンサルタント／福祉住環境コーディネーター
壁紙スペシャリスト講師
メディカルスタイリスト
●トレンド分析に定評があり、インテリアに於ける色彩心理研究や環境色彩計画を行う。日本初の小規模多機能高齢者施設を始め、福祉・公共施設の色彩計画やインテリアデザイン、街づくりの色彩などを手がける。英国やスイスでのデザイン経験を活かし、トレンド分析や展示会サポート、コンサルティングなど行う。セミナーや執筆、講演多数。壁紙スペシャリスト認定講座指定講師

「第102東京ギフト・ショー」
「第20回LIFE×DESIGN」

2026 9/2(水)3(金)4(土)
東京ビッグサイト〔東・西・南展示棟〕

ビジネスガイド社は、日本最大のパーソナルギフトと生活雑貨の国際見本市「第102回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2026」、リノベーション見本市「第20回LIFE×DESIGN」、トータルインテリア国際見本市「LIVING & DESIGN 2026」、「第40回グルメショー秋2026」を、東京ビッグサイトにて同時開催する。

「第102回東京ギフト・ショー秋2026」は、「伝統と革新」を開催テーマに1851社が出展する。注目のイベント企画では、テーマイベントとして「伝統と革新」（西4ホール）を実施、海外からも高い関心を集める日本の伝統工芸品を「伝統と革新」「インバウンド」「国産ギフト」「職人の技」「温故知新」の5分野で展開する。またレジ前商品にクローズアップした「目指せ！レジ前ベストアイテムズ～ついで買いを発見～」（東3ホール）、超高齢社会で多様化するニーズに対応するアイテムを集めた「人生100年時代のシニアケアサポートグッズPart3」（東ホールガレリア）、防災グッズを特集する「備えプロダクツ Showcase」（東ホールガレリア）などが多彩に行われる。この他、インテリア関連アイテムが集結する「ホームファッショングッズビレッジ」（西2・4ホール）では、インテリアアクセサリー、照明、ファブリック、寝具、テーブルウェアなどの新製品が多数集まる。

「第20回LIFE×DESIGN」（西1・3・4ホール／アトリウム）は、「境界をこえる デザイン・クラフト・リノベーション」をテーマに、拡大するリノベーション市場に向けて、インテリア・家具、リノベーション資材、グランピング・サウナ関連製品などを展開する。

トータルインテリア国際見本市「LIVING & DESIGN 2026」（西4ホール）については、新ディレクターに永山祐子氏を迎えて特別企画「つなぐ」を行う。大阪・関西万博で使用されたパビリオンのファサードのリユース、海洋廃材から生まれたハンモック、能登半島地震で倒壊した家屋に使われていた瓦をアップサイクルした建材など、建築ディレクションを通して次につなげる風景を展示する。同エリアには川島織物セルコンも参加する予定。

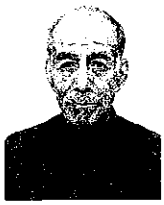
同時開催展示会トータルの出展者数は2854社。海外出展者は827社（「第40回グルメショー秋2026」含む）。

＊詳細な情報取集は、公式サイト検索

「ギフト・ショー」公式サイト
https://www.giftshow.co.jp/tigs/

Cloth and Paper KOJIMA
小嶋織物株式会社
Kojima Orimono Co., Ltd.
一本の糸から最終製品まで。
京都府木津川市山城町上狛北野田芝1-3
http://www.kojima-orimono.com

不器用な職人の生き方



全国表具経師内装組合連合会　監事
山口県表具内装組合連合会　会長
有限会社　神南表具店
社長　神南　元義

「河川海岸一斉清掃」　81

毎年七月中旬の日曜日萩市では河川海岸一斉清掃が行われる。年々暑さが厳しくなっていることもあり今年は例年より二週間ほど早い六月二十八日に決定された。梅雨明け前なので天候が心配だったが当日は晴天に恵まれ予定通り行われた。萩市の各町内はそれぞれの地区にある公園や広場、河川敷や海岸の清掃をするのだが町内にそういった場所があまりない市街地となる地区には市から予め川沿いや海岸の清掃が割り当てられる。私の住む町内は市街地となるため区域内にある公会堂などの施設の草刈りは老人クラブの方々にまかせて他の者は割り当てられた萩市の三角州の頂点で分岐点となる太鼓湾から約三百メートルの範囲の土手沿いに朝六時に集まり町内で準備した鎌や草刈り機を使って一時間半ぐらいかけて草刈りを行った。

昔は草刈り機がなく全て手で刈っていたので三時間以上はかかっていたが草刈り機一台で十人分以上の仕事をしてくれるので随分と時間が短縮された。農家が多い対岸の土手沿いの地域では何台もの草刈り機が出動しものすごい音を立てあ柄活躍していた。河川海岸一斉清掃はこの時期の恒例行事でこれまではただやらないといけないという気持ちで参加していた。しかしながら数年前、清掃後に仕事で菊が浜の海岸沿いを車でたまたま通ったところ浜辺に打ち寄せられたゴミや海藻がきれいに片付けられておりいつも以上に白い砂浜と青い海の美しさが際立っていた。そのまま自分たちが清掃した区域も含め河川沿いも走ってみるとあらためてこんなにも景色が違うものかと驚かされた。

これまで何十年も一斉清掃に参加してきて後何年参加できるのだろうかという歳になって漸く河川海岸一斉清掃の意義がわかったような気がしている。それからは草刈りをしながらここを通る人がこの景色を綺麗だと思ってくれたらいいなあと思いながら作業をしている。仕事にしても河川海岸一斉清掃にしても作業に没頭しているときにはその意義や価値の大切さになかなか気付かないような気がする。鎌を片手に太鼓湾を眺めながらこれが終われば蝉の鳴き声とともにまたあの暑い夏がやってくるなぁと思った。

〔61〕デジタルプリントによるインテリアの現状と今後

大判インクジェットプリンターが繰り広げる「誤差拡散（ごさかくさん）」の超絶メカニズム

アイエスジー文化研究所　小島　一仁氏

いつもお読みいただきありがとうございます。

今回は、少し趣向を変えて、ユーモアを交えてわかりやすく、インクジェットそのもののメカニズムについてのお話をしてまいります。

新入社員の方々も、漸く会社に慣れてきたころですし、今や、パソコンやインクジェットプリンターはもはや必需品とも言える重要なツールになるので、この機会におさらいをしていただければ幸いです。

私たちが普段、五感で楽しんでいる美しい壁紙、木目調のフローリング、そして窓辺を彩るカーテン。実はこれら意匠性の高いプロダクトの裏側で、デジタルデータの「点（dpi）」と、印刷のきめ細かさを表す「線（lpi）」が、夜な夜な情熱的な幾何学ダンスを踊っているのをご存知でしょうか。

今回は、伝統の「アナログ印刷（線構成）」と、新時代の「デジタル印刷（点構成）」の意地とプライドをかけた戦いを、ユーモアと技術的リアルを交えて覗いてみましょう。

まず、伝統的な大量生産の現場で君臨するのが「グラビア印刷」や、テキスタイル業界の重鎮「ロータリー捺染（なっせん）」です。

彼らは、ビシッと整列した網点の列、つまり「線（lpi）」で魅せるベテランダンサー。金属の円筒（版胴）に直接、規則正しく刻まれたマス目（セル）にインクを仕込み、ロール紙や布地へ超高速で転写していきます。その精度はまさに軍隊そのもの。寸分の狂いもなく、完璧なリピートパターン（リピート柄）を量産するその姿は惚れ惚れします。特に、カーテンの連続するエレガントな紋様や、高級壁紙の深みのある「ベタ印刷（色ムラのない均一な塗りつぶし）」は彼らの独壇場です。ただし、彼らには致命的な弱点があります。それは「版代」という名の莫大な初期コスト。「ちょっと今風のニュアンスカラーに変更して、50メートルだけ刷ってよ」なんてデザイナーの浮気心は、頑固一徹な彼らには一切通用しません。「数千メートルから出直してきな！」と塩対応されるのがオチです。そこに「小ロット・多品種なら任せろ！」と颯爽と現れたのが、現代の寵児「インクジェット方式」です。彼は版を持たず、ミクロのインク滴（dpi）を直接吹き付けるフリースタイルなダンサー。ここで炸裂するのが、「誤差拡散方式」というウルトラCのデジタル技術なのです。

インクジェットは1粒のインクの濃淡を細かく変えられないため、色の密度（点構成）で勝負します。淡い中間色を表現するとき、「ここにインクを打つと濃すぎるな…」と判断すると、その色の過不足（誤差）を「おい、隣！あとは頼んだ！」と、次に打つ周囲の点へ次々とバトンタッチして分散させていくのです。

この「健気な誤差のなすりつけ合い」を超高速で繰り返した結果、紙や布の上には、砂絵のようにランダムで極めて滑らかなグラデーションが出現します。

この不規則なカオス＊の美学こそが、天然の木目や大理石のリアルな質感、あるいは和室の「襖（ふすま）印刷」における、格調高い襖絵（ふすまえ）のような繊細な水墨画のボカシ表現を可能にしているのです。

おもしろいことに、グラビアのような線構成の世界では、データ側の「点（dpi）」と印刷機の「線（lpi）」の間に「dpi ＝ lpi × 2」という絶対的なステップのルール（2倍の黄金比）が存在します。これが崩れると、ダンスはたちまちステップを踏み外し、画像はモザイクのようにガタついてしまいます。

一方、インクジェットは、lpiという概念を飛び越えて、ダイレクトにdpiの網を広げて空間を支配します。

伝統の「線」でビシッと美しく空間を引き締めるカーテンや量産壁紙か？それとも自由な「点」と誤差拡散の知恵で、一点ものの襖やリアルな特注フローリングを創り出すインクジェット方式か？

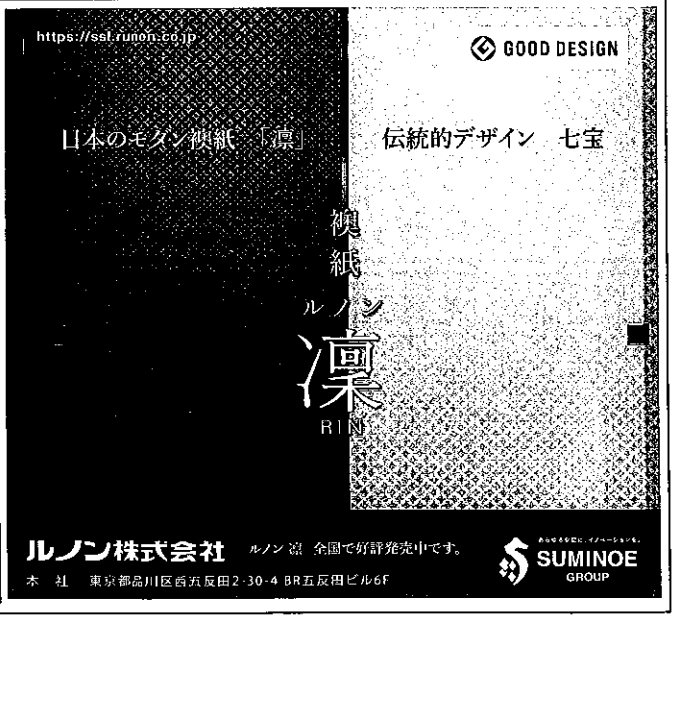
次にショールームで素材に触れる際は、ルーペを片手に、彼らが紙や布の上で繰り広げた、秘密の幾何学ダンスに想いを馳せてみてはいかがでしょうか。コーディネートの提案に、ちょっとした深み（と、クスッとした笑い）が出るかもしれません。

大判の産業用インクジェットプリンターが実はインクの吐出による点の集合体で構成されているという認識は、選ぶ側もさることながら、売る側、取り扱う側、製造側にとっても大切なことなのです。

添付が実際に大判インクジェットプリンターで出力した「誤差拡散」の画像をUVインクと、マイルドソルベントインクで拡大比較したものです。UVインクとマイルドソルベントインクの点はインクの特性上違いが見られますが、「誤差拡散」のメカニズムは全く同じです。是非、参考にしていただければ幸いです。 大判グラフィックプリントが実はインクの吐出による点の集合体で構成されているという認識は、製造側にとっても大切です。

是非、読者の皆様もデジタルプリントインテリアをビジネスに加えていただければ幸いです。

＊「カオス」：秩序が全く整理されていない混乱した不規則な状態。デジタルプリントのインテリアマーケットは拡大しています。
＊DPIとは（Dots Per Inch）1インチの中に、点（ドット）がいくつ並ぶかを示す単位。特徴：プリンターが印刷する際の細かさや、スキャナーの読み取り精度を表すのに使われます。数値が大きいほど、滑らかで精細な表現ができます。
＊LPIとは（Lines Per Inch）1インチの中に、網点（あみてん）の列が何本並ぶか（スクリーン線数）を示す単位。特徴：オフセット印刷などの商業印刷で、写真やグラデーションを表現するための網目の細かさを表します。

Mimaki UCJV330 LUS170 インク（LED-UV 硬化型インク） 600dpi×600dpi 10パス/双方向 印刷 右は7倍拡大

Mimaki JV330 SS21 インク（マイルドソルベントインク） 600dpi×1200dpi 12パス/双方向 双方向印刷 右は7倍拡大